

2022年度 学校関係者評価書

学校園名 東京学芸大学附属幼稚園竹早園舎・竹早小学校

1 学校関係者による評価

領 域	学校関係者による評価と今後の課題
学校運営	・コロナ禍の大変な中、学校として十分にやっていると思われる。日光林間学園は竹早小の素晴らしい伝統なので、以前の形に戻ってきてよかった。 ・コロナ対策を含め様々努力されていることは喜ばしい。引き続きよろしくお願ひしたい。 ・厳しい環境下での活動について、十分理解できた。 ・教員のさらなる指導をお願ひしたい。 ・制服については、引き続き多様な角度での検討が必要である。
教育活動	・縦割り活動は竹早小の大変よい取り組みなので、続けてさらによい成果を出していてもらいたい。 ・保護者の理解を得て、体験学習を推進して欲しい。 ・学校が一体となることで子どもたちの成長を見ることが出来る。今後子どもたちの生活が成長することを期待する。 ・垣根をとり払うと同時に見えなかった垣根も出てくるので、色々なアンテナを張り巡らして欲しい。 ・校外学習において事故がないよう引き続き注意して欲しい。
研究活動	・公開研究会を対面で開催できてよかった。 ・これまでの研究を継続していくことが望まれる。
学生の教育・支援活動	・今後の日本にとって教育者の育成がネックになると思われる。大学と附属が連携して教員養成に努めて欲しい。 ・今年度も100名以上の教育実習生を受け入れることができてよかった。 ・一日も早く正常な状況に戻ることを願っている。
社会貢献活動	・教員と児童の交流が活発になるよう期待する。 ・職員室のフリー座席、コワーキングスペースについては大変興味深い。 ・学校の職員室もフリーアドレスが導入される時代になったと少し驚きもあるが、時代に合わせて変化していくことが必要である。

2 評価の実施概要

委員による授業及び入学式、竹の子祭、日光林間学園、竹早祭、卒業式などの行事の参観、評議員を含めた学校関係者委員会での自己評価結果の説明・保護者アンケートの説明・その後の意見交換を経て、評価していただいた。

3 学校関係者評価委員、開催日

学校関係者委員：坂巻三登（評議員） 宮本康良（評議員） 矢澤英人（評議員）
熊澤米之（評議員） 白石英行（評議員） 小島理（PTA会長）

開催日：2023年3月2日（木）